

# こんなことも 協働のまちづくり

## 旧「NPO」『ノーソン』 (大分県中津市)

2003年、大分県中津市の住民有志を会員とする「特定非営利活動法人耶馬溪やまけいノーソンくらぶ」が設立されました。

2005年に、JA中津下毛の旧津民支所を改築し、お店をオープンさせ、名前は大手コンビニの「ローソン」と「農村」、また、「ノー損」をかけて「ノーソン」と名付けました。町のコンビニには、若者が多いが、ノーソンは反対にお年寄りの方が多くなっています。店内には食品関係と日用品雑貨、野菜の種、衣類など約300品目を置いてあり、長いカウンターには、元農協の職員として旧津民支所で働いていた店長がお客様を迎えています。

ノーソンの営業は平日の5日間朝9時から夕方5時までとなっております。月曜日と木曜日はお客さんと賑わいます。賑わう理由としてノーソンは診療所の前にあり、診療所まで送迎バスが出ているので、診療所の帰りに寄りやすい場所になっています。賑わう理由にはもう一つあり、店内には円形の大き

なテーブルがあり、冬は薪ストーブを囲んで世間話をして気を晴らす人が多いからです。人と人が豊かにふれあう機会が激減している中、自由が集まり、語り合えるノーソンは、このお年寄りの方の人生も輝かせています。

ノーソンには、お年寄りの方が元気になる別の仕掛けもあります。それは、お年寄りの方が作った農産物の野菜や花をノーソンまで持ち込めば、中津市内のスーパーに運んでくれるというものです。もともと「余り野菜」を集めて出荷していた方がいて、それに便乗してやっていたのですが、あまりにも好評のため、続けることを決めました。

地域のお年寄りの方をはじめ、地域の方々にもたらしたものは大きく、欠かせない存在となったノーソンは、農村地域の理想的なモデルとなっています。



▲旧農協支所を手作業により改装できた「ノーソン」

## 〈剣淵町の事例〉 NPO 絵本の里けんぶち街づくり 観光

町内の有志が参画し、2008年から、町民と帰省した人との交流を深める場と、合わせてまちの活性化を図ることを目的に大晦日の深夜に年末カウントダウン事業（花火とちまき）が行われています。

この場には、町民や帰省した人が多く集い、年越しカウントダウン花火が打ち上げられ、新年を祝っています。また、豪華景品が当たる「お年玉付きちまき」も行われ、深夜でも人気の行事となっています。

今年の大晦日も、多くの人が集うよう花火やちまきが計画されています。人が集まる年末を利用し、まちの活性化を図る企画として、町民の皆さんの参画の中で「協働のまちづくり」が進められています。



▲カウントダウン花火